



## 今回は トゥアティエン・フエ省からの友好訪問 の報告です。

### ◇ フェ省、フェ大学、遺跡保存センター、フェ市の方々が来校されました！

日時： 令和元年11月25日(月) 13:30 ~ 15:00

訪問者：

グエン・ファン・フック氏

フェ省観光局副局長

グエン・フオック・ハイ・チュン氏

フェ遺跡保存センター副センター長

トン・ヌー・ゴック・イー・ニー氏

外フェ省外務局職員

グエン・ファン・ホアン氏

フェ市人民委員会

チャン・フュー・トゥアン氏

フェ大学観光学部長

場 所： 関高等学校 桜ヶ丘会館 3F

参 加： ベトナム研修参加者 22名

### ◇ 当日のようす

岐阜県とトゥアティエン・フエ省（以下、フエ省）は、県と省、高山市とフェ市、岐阜大学とフェ大学による観光や文化価値保全、経済、教育など、多面的な交流を進めています。

特に観光分野では、日本側・ベトナム側双方からなるワーキンググループが結成され、歴史的な遺産を活用した観光交流を進めています。

フェ大学との交流を進めている関高校への訪問もその一環であり、昨年につき第2回目の訪問となります。来校されたメンバーの中でも、観光局副局長のグエン・ファン・フック氏、フェ大学観光学部長のチャン・フュー・トゥアン氏は、2度目の本校訪問であり、生徒の前で親しくお話をされていました。本校からは、生徒代表の藤井玖龍さんが、英語で歓迎のあいさつを述べました。

現在、日本では、東京オリンピックを前に訪日インバウンドの誘致に湧き立っています。飛騨高山や世界遺産白川郷という知名度の高い観光地を抱える岐阜県は、このふたつ以外の観光地も含め、多くの外国人観光客の集客をはかるため、官民を挙げた取り組みを盛んに行っているところです。

その一方で、地域住民にとっての弊害、いわゆるオーバーツーリズムの問題も取り上げられるようになりました。関高校のSGH課題研究でも、インバウンド誘致や自然環境、住民の居住環境との調和の問題が取り上げられています。

今回のベトナム研修では、世界文化遺産を3か所見学し、さらに絶滅危惧種の霊長類を観察するエコツーリズムにも参加します。歴史的な文化遺産、美しい自然景観に恵まれた岐阜県にとって、観光資源としての積極的活用をはかることは急務ですが、一方で、その保全や地域住民の生活との調和もはかる必要があります。今回の研修の大きな目的のひとつは、現地において日越共通の課題を学ぶことにあります。

